# 子どもたちとの関わりから学ぶ ~ようこそ金沢星稜大学に!~

団体名●金沢市立小坂小学校(2年生) 芥川フィールド/代表者名●芥川元喜(人間科学部こども学科・准教授)

## はじめに

金沢市立小坂小学校とは、担当ゼミナール3年生「こどもフィールド演習」のフィールド校としてもここ数年、継続した連携をさせて頂いている。今回は、担当ゼミナール2年生フィールド基礎演習で、小坂小学校2年生の子どもたちと交流を行った活動を紹介する。

#### 活動内容

小坂小学校の2年生・生活科の学習で「町たんけん」を行った際に、本学が小坂小学校の校区にあることで、本学に興味・関心を持った子どもたちがいた。そこで、生活科の学びとして、本学に「たんけん」しに来学した子どもたちに大学2年生が本学を案内するという活動である。

10月26日(火)に本学に興味・関心を持った子どもたち15名と引率の先生と保護者が来校し、交流活動を行った。

はじめに、学生たちは小坂小学校に子どもたちのお迎えに行き、大学までの引率を行った。小学校教員の校外学習での引率業務は重要な役割の一つである。それを実際に体験することになり、学生は事前に歩くコースの安全面を話し合い、子どもたちのどこに入って学生が歩くのか等も確認した上で、引率した。本学に来校し、大学の実際のサーモグラフィーによる体温検知や入校前の消毒など、コロナ禍での大学の感染対策も実際に子どもたちに体験してもらった。本館に案内し、A22教室に案内した。子どもたちは講義室に入って、大学の教室の広さや机や椅子が小学校とは異なることを実感し、メモにとる子どもたちもいた。



#### (1)子どもたちからの質問に答える交流の時間

講義室では、子どもたちから事前に出されていた 大学についての質問について、学生がクイズ形式に して、答えていくという、交流の時間を持った。

大学の教室はいくつあるのか、先生と大学生は何人いるのか、等、20を超える質問をもらい、学生も事前に「調べ学習」を行った。この質問内容には大学で働く職員の方々にも質問があったので、本学職員の方々にも質問内容について答えて頂くご支援を頂いた。そして、2年生の子どもたちが関心を持った問いについて、一つひとつ丁寧に調べ、答えが分かったら、パワーポイントを作成して、分かりやすく伝えられるように、準備を行った。



## (2)大学見学・授業見学の様子

質問タイムの交流の後には、大学の校舎、キャンパス内を学生が案内した。大学で働く人たちの様子を見るために、大学事務局をガラス越しに見学してもらった。その後、大学の授業の見学を行った。

こども学科の4年生が受講する授業を見学した。 大学生一人ひとりがタブレットを使用して学ぶ様子 を見学してもらった。その後、大学の中庭や図書館、 学食などを外側から見学してもらった。

大学探検の最後に、正面玄関前でお別れをするのだが、この場面でも子どもたちからの大学についての質問がたくさん出てきた。子どもたちの興味・関心の高さがとても伝わってきた。









# 成果、結果の考察

昨年度から引き続き、コロナ禍で、大学生と子どもたちの関わりが感染対策として少なくなるなかで、 実際の小学校の生活科の学習に関わり、交流し、学べたことは貴重な体験となった。この活動後の振り返りにおいても学生たちは、子どもたちへの声の掛け方や、子どもの誘導、一斉指導の進め方など、実践的な学びとして多くことを学んでいた。

活動後には子どもたちからのお礼の手紙を小坂小学校の先生が届けて下さった。子どもたちからは大学構内を見学できた喜びや、質問内容に答えてくれたお礼、大学探検で学んだことなどが記されていた。学生たちは子どもたち一人ひとりのお礼の手紙をじっくり読んで、みんな笑顔になり、子どもたちの学習に役に立てた喜びを感じていた。

大学職員の方々には子どもたちの質問に答えるだ けではなく、使用する教室の予約なども快く迅速に 行っていただき、様々なところで、支援を頂いた。小 坂小学校の子どもたちの学びを応援する、本学と小 坂小学校との連携の土台がしっかり築かれているこ とを筆者自身も実感している。この小坂小学校の子 どもたちと大学との交流は、私が本学に着任する前 より毎年、途切れることなく続いていると聞いてい る。コロナ禍で"続ける"ことの難しさをあらゆる場 面で感じることが多いなかで、交流を"続ける"こと が、組織と組織の絆につながっているように考える。 子どもと大学生の絆は形あるものでなくても、大学 生は、子どもと関わることで得た、小学校教員になり たいという熱意になり、子どもたちは大学探検をし た学びや思い出になり、それぞれに意味を持つもの になっていく。こういう時だからこそ、連携や、活動 を続けることの意味を見出すことが大切になってい るのだと感じる。





子どもたちから大学に頂いたお礼状